
楽²ライブラリ 連携ソフトウェア

補足説明書

はじめに

本書は、楽²ライブラリ 連携ソフトウェアをお使いになるにあたっての補足事項について説明しています。

2010年11月 初版

Acrobat、およびAdobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

その他の商品名、会社名は、一般に各社の商標または登録商標です。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

All Rights Reserved, Copyright© PFU LIMITED 2010

本書で使用している用語について

本書では、楽²ライブラリ クライアントサーバ関連の製品を以下のように表記しています。

- ・「楽²ライブラリ クライアントサーバ」を「楽²ライブラリ」と表記しています。
- ・楽²ライブラリをインストールするサーバを「楽²サーバ」と表記しています。
- ・楽²ライブラリ 連携ソフトウェアを「連携ソフトウェア」と表記しています。

マニュアルについて

楽²ライブラリのマニュアルには、本書のほかに『セットアップガイド（管理者編）』、『セットアップガイド（管理者編） 追補版』、セットアップガイド（クライアント編）』、『ユーザズガイド』、および『ビューア画面のヘルプ』があります。

PDF形式のマニュアルをご覧になるためには、Adobe Acrobat 製品が必要です。

それぞれのマニュアルは、目的に応じて次のように使い分けてください。

セットアップガイド（管理者編）

楽²ライブラリの概要、サーバの動作環境、楽²ライブラリ／連携ソフトウェアのインストール／アンインストールの方法、および連携ソフトウェアの概要について知りたいときにお読みください。

PDF形式の『セットアップガイド（管理者編）』は、楽²サーバで、[スタート]メニューから[プログラム]－[楽²ライブラリ クライアントサーバ]－[セットアップガイド（管理者編）]を選択すると表示されます。

また、製品CD-ROMのルートディレクトリの直下に「セットアップガイド（管理者編）.pdf」としても提供しています。

セットアップガイド（管理者編） 追補版

連携ソフトウェアの「監視フォルダ一括連携」について知りたいときにお読みください。

『セットアップガイド（管理者編） 追補版』はPDF形式で提供しています。連携ソフトウェアをインストールすると参照することができます。

楽²サーバで、[スタート]メニューから[プログラム]－[楽²ライブラリ クライアントサーバ]－[セットアップガイド（管理者編） 追補版]を選択すると表示されます。

セットアップガイド（クライアント編）

楽²ライブラリの概要、クライアントの動作環境、およびインストール／アンインストールの方法について知りたいときにお読みください。

PDF形式の『セットアップガイド（クライアント編）』は、楽²サーバで、[スタート]メニューから[プログラム]－[楽²ライブラリ クライアントサーバ]－[セットアップガイド（クライアント編）]を選択すると表示されます。

また、製品CD-ROMのルートディレクトリの直下に「セットアップガイド（クライアント編）.pdf」としても提供しています。

ユーザーズガイド

楽²ライブラリの操作について知りたいときにお読みください。

『ユーザーズガイド』は、バインダ形式とPDF形式で提供しています。

バインダ形式の『ユーザーズガイド』は、楽²ライブラリのブラウザ画面を起動して、「デフォルト書庫」の「デフォルトキャビネット」の「ユーザーズガイド」をダブルクリックすると参照できます。

バインダ形式のユーザーズガイドをご覧になるためには、楽²ライブラリのクライアントプログラム（楽²ビューア）をインストールする必要があります。

PDF形式の『ユーザーズガイド』は、楽²サーバで、[スタート]メニューから[プログラム]－[楽²ライブラリ クライアントサーバ]－[ユーザーズガイド]を選択すると表示されます。

また、製品CD-ROMのルートディレクトリ直下に「ユーザーズガイド.pdf」としても提供しています。

ビューア画面のヘルプ

楽²ライブラリのビューア画面での操作について知りたいときや、

ビューア画面での操作中（項目を入力するときなど）に分からないことがあったときにお読みください。

ビューア画面の[ヘルプ]ボタンをクリックすると表示されます。

また、ダイアログボックスの[ヘルプ]ボタンをクリックすると、そのダイアログボックスの項目についての説明が表示されます。

目次

はじめに	i
本書で正在している用語について	ii
マニュアルについて	ii
目次	iv
◆ 連携設定（設定画面）	1
◆ ファイル取り込み	7

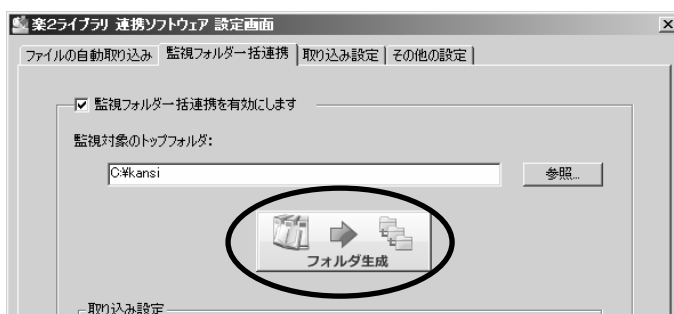
◆ 連携設定（設定画面）

Q 監視フォルダ一括連携で、監視対象のフォルダを追加／変更する方法

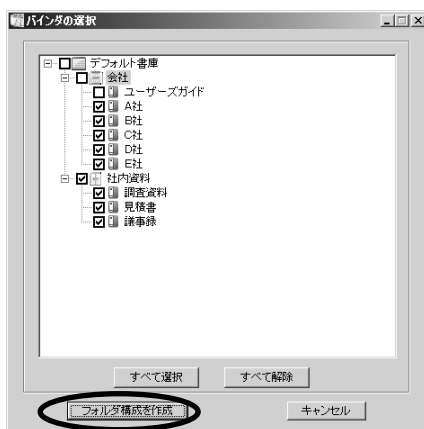
A 監視フォルダ一括連携で、監視対象のフォルダを追加／変更する方法は次のとおりです。

◇ 監視対象のフォルダを追加する場合

- 1) 監視対象として追加したいバインダを作成します。
- 2) 連携ソフトウェアの設定画面を開き、「監視フォルダ一括連携」画面を表示し、[フォルダ生成]ボタンをクリックします。



- 3) 「バインダの選択」画面が表示されますので、追加したいバインダにチェックを入れて[フォルダ構成を作成]をクリックし、監視するフォルダを作成します。

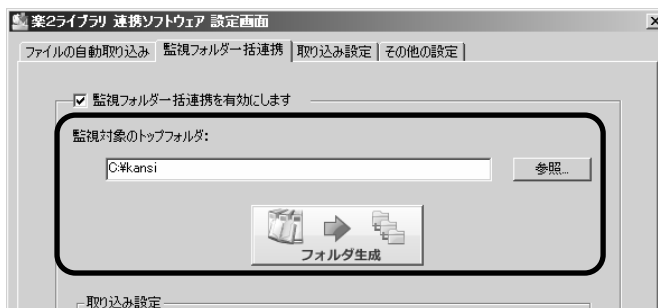


- 4) 「監視フォルダ一括連携」画面上の[OK]ボタンまたは[適用]ボタンをクリックして連携設定を更新します。

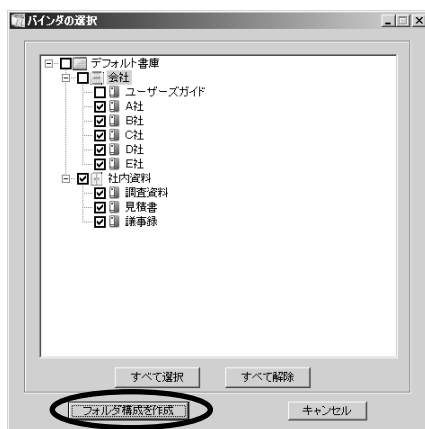
◇ 監視対象のフォルダを変更する場合

—監視対象のフォルダ全体を別の場所にするには以下の手順で設定します。

- 1) 連携ソフトウェアの設定画面を開き、「監視フォルダ一括連携」画面を表示します。
- 2) 「監視対象のトップフォルダ」に新しいフォルダを指定した後、[フォルダ生成]ボタンをクリックします。



- 3) 「バインダの選択」画面が表示されますので、監視対象にしたいバインダにチェックを入れて[フォルダ構成を作成]をクリックし、監視するフォルダを作成します。

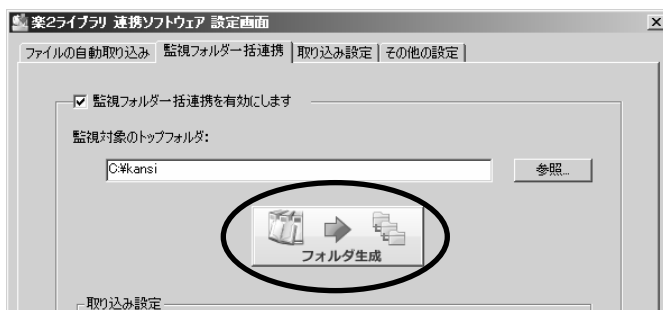


- 4) 「監視フォルダ一括連携」画面上的[OK]ボタンまたは[適用]ボタンをクリックして連携設定を更新します。

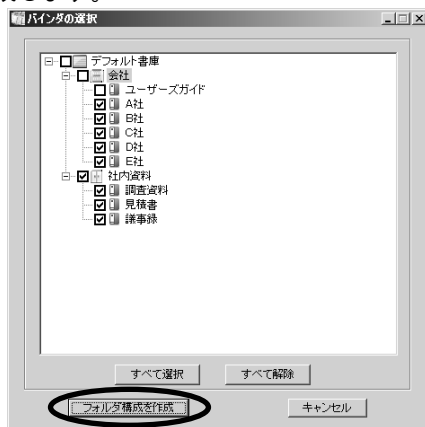
—監視対象になっている特定のフォルダ名を変更したい場合は、以下の手順で設定します。

※ 監視対象フォルダ名をエクスプローラで直接変更すると、連携されなくなりますので、注意してください。

- 1) 楽²ライブラリで監視対象となっているバインダのバインダ名（バインダタイトル）を変更します。
- 2) 連携ソフトウェアの設定画面を開き、「監視フォルダ一括連携」画面を表示した後、「フォルダ生成」ボタンをクリックします。



- 3) 「バインダの選択」画面が表示されますので、監視対象にしたいバインダにチェックを入れて「フォルダ構成を作成」をクリックし、監視するフォルダを作成します。



- 4) 「監視対象のトップフォルダ」で指定したフォルダ内にある、元のフォルダを削除します。
- 5) 「監視フォルダ一括連携」画面上の[OK]ボタンまたは[適用]ボタンをクリックして連携設定を更新します。

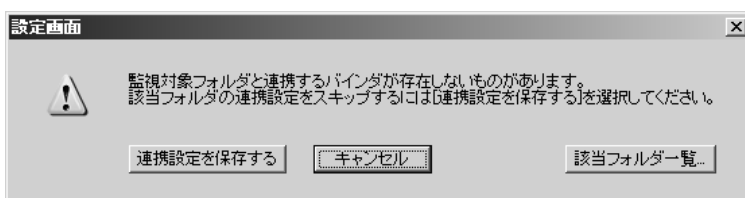
Q 監視フォルダ一括連携でフォルダを監視対象から外す方法

A 監視フォルダ一括連携でフォルダを監視対象から外す方法は次のとおりです。

◇ 監視していた特定のフォルダを監視対象から外す場合

監視していたフォルダを「監視対象のトップフォルダ」以外のフォルダへ移動するかフォルダ名を変更する、または監視していたフォルダを削除すると監視対象から外すことができます。

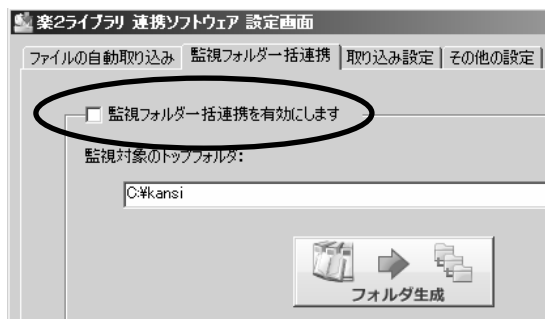
※ フォルダ名を変更した場合には、連携ソフトウェアの設定画面「監視フォルダ一括連携」で設定を保存すると、以下のメッセージが表示されます。



[該当フォルダ一覧...]をクリックして、名前を変更したフォルダが表示されていることを確認してから[連携設定を保存する]をクリックすると、名前を変更したフォルダを監視対象から外すことができます。

◇ 監視対象のすべてのフォルダの監視を停止する場合

監視フォルダ一括連携のすべてのフォルダ監視を停止するには、連携ソフトウェアの設定画面「監視フォルダ一括連携」で「監視フォルダ一括連携を有効にします」のチェックを外してから、[OK]または[適用]をクリックします。



Q 「@」または「@<数字>」で終わる書庫名／キャビネット名／バインダタイトルが含まれるバインダと連携できません。

A 「@」または「@<数字>」で終わる書庫名配下／キャビネット名配下のバインダ、および、「@」または「@<数字>」で終わるバインダタイトルのバインダとは連携設定することができません。

(例) 書庫名が“社内資料@”の書庫にあるバインダ
キャビネット名が“2010年@2”のキャビネットにあるバインダ
バインダのタイトルが“10月@3”のバインダ

連携するには書庫名／キャビネット名／バインダタイトルを変更するか、「@」または「@<数字>」で終わらない書庫名／キャビネット名配下にバインダを作成し、連携設定を行ってください。

Q 監視フォルダ一括連携の「フォルダ生成」でフォルダを生成すると、フォルダ名に「\$\$」が付きます。

A 連携するバインダ名に2行目が設定されている場合、そのバインダに該当する監視対象フォルダ名には、バインダタイトル1行目と2行目の間に「\$\$」が付きます。

(例) バインダのタイトル(1行目)が“社内”、タイトル(2行目)が“資料”のバインダに対応するフォルダ名は“社内\$\$資料”になります。

※ フォルダ名から「\$\$」を削除すると、連携設定が外れてしまいますので、フォルダ名は変更しないでください。詳しくは本書の『[連携していたフォルダが連携されなくなりました。](#)』を参照してください。

Q 連携ソフトウェアの設定画面「その他の設定」のサービス設定でアカウントを変更したら、ファイルが取り込まれなくなりました。

A ー選択した管理者権限のアカウントで、一度もログインしていません。
→ 一度以上ログインしたことがあるアカウントを指定してください。
ー選択した管理者権限のアカウントに対し間違ったパスワードを設定すると、連携ソフトウェアの監視は停止します。
→ 再度正しいパスワードを入力してから、[OK]ボタンをクリックして設定を保存してください。

Q 連携していたフォルダが連携されなくなりました。

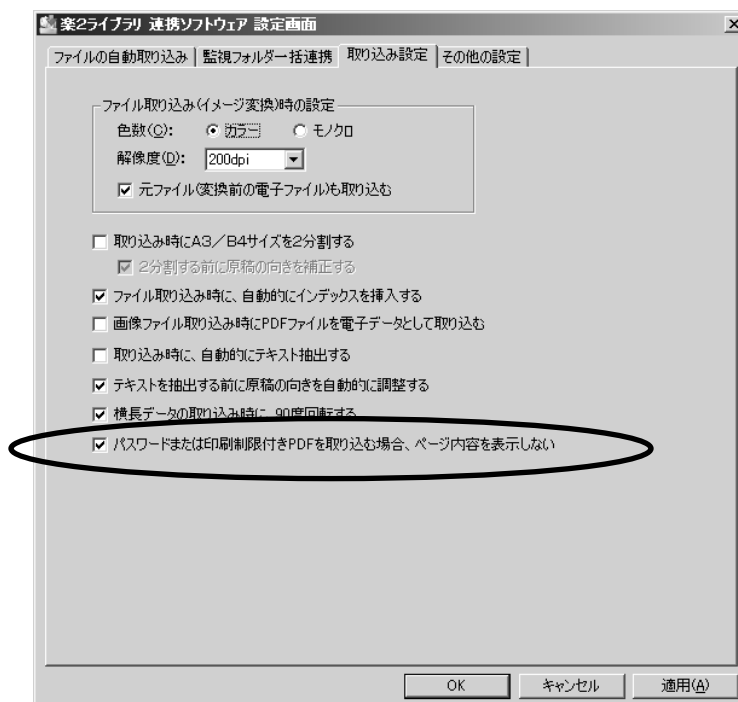
- A
- 監視対象のフォルダ名を変更すると連携されなくなります。
元の連携設定で連携するにはフォルダ名を元の名前に戻してください。
 - 連携していたバインダを削除または別のキャビネットへ移動すると連携されなくなります。別のキャビネットへ移動したバインダを連携設定するには、本書の『[監視フォルダ一括連携で、監視対象のフォルダを追加／変更する方法](#)』の手順で再度連携設定し直してください。
 - 連携先の書庫／キャビネット／バインダが自動的に生成されている場合(名前の末尾が「@<数字>」)、元の書庫／キャビネット／バインダの名前を変更したり削除すると、連携されなくなります。
「@<数字>」を除いた書庫／キャビネット／バインダを作成してから再度連携設定し直してください。
-

◆ ファイル取り込み

Q パスワード付き／印刷制限付き PDF ファイルの取り込みに失敗します。

A 連携ソフトウェアの設定画面「取り込み設定」で、「パスワードまたは印刷制限付き PDF を取り込む場合、ページ内容を表示しない」の設定が有効になっていません。

連携ソフトウェアでパスワード付き／印刷制限付き PDF ファイルを取り込むときには、この設定は必ず有効にする必要があります。



Q 横長原稿が回転されて取り込まれます。

A 一連携ソフトウェアの設定画面「取り込み設定」で、「横長データの取り込み時に、90度回転する」が有効になっていると横長原稿が回転されて取り込まれます。回転しないようにするには、このチェックを外してください。



一楽²ライブラリでサポートしている形式のPDF(楽²ライブラリで出力されたPDF、またはScanSnapで読み取ったPDF)以外のPDFを取り込む場合は、Adobe Acrobat または Adobe Reader の印刷設定で「自動回転と中央表示」が有効になっていると、印刷時に横長原稿が自動的に回転されます。

回転せずにファイルを取り込むには、以下の手順でこの設定のチェックを外してください。

以下の手順は楽²サーバ上で行います。

- 1) 連携ソフトウェアの設定画面「その他の設定」タブで設定したアカウントでログインします。
 - 2) 任意のPDFファイルをAdobe AcrobatやAdobe Readerで開きます。
 - 3) 印刷を実行し、印刷設定ダイアログを表示します。
 - 4) 印刷設定ダイアログにある、ページ処理の「自動回転と中央表示」のチェックを外します。
 - 5) 一度、このまま印刷を実行し、設定を保存します。
-

Q ファイル自動取り込み／監視フォルダ一括連携で、ファイルが取り込まれないが、エラーにもなりません。

A 一連携ソフトウェアのサービスが起動されていない可能性があります。
この場合は以下の手順で連携ソフトウェアのサービスを開始してください。

- 1) [スタート]メニューから[管理ツール]－[サービス]を起動します。
- 2) [サービス] ダイアログボックスで、連携ソフトウェアのサービスを以下の順に開始します。

- (1) Raku2 AutoTool Service
- (2) Raku2 AutoImp Service

サービスの一覧からサービスを選択し、マウスを右クリックして[開始]を選択すると、サービスが開始されます。

一取り込み先のバインダを開いている可能性があります。
取り込み先のバインダが開いている場合は、閉じてください。

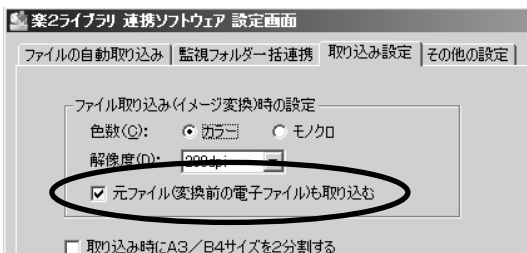
一暗号化フォルダを監視対象フォルダに指定しています。
暗号化フォルダを監視対象にすることはできません。
暗号化されていないフォルダを指定してください。

Q スポットカラー(2色)のPDFを取り込むとモノクロで取り込まれます。

A 本製品ではスポットカラー(2色)のPDFを取り込むとモノクロとなります。

スポットカラー(2色)のPDFを取り込む場合は、以下の手順で元のファイル(電子データ)も取り込み、Adobe Acrobat や Adobe Reader で開いてください。

- 1) 連携ソフトウェアの設定画面を開き、「取り込み設定」タブをクリックします。
- 2) 「ファイル取り込み設定(イメージ変換)時の設定」の「元ファイル(変換前の電子ファイル)も取り込む」のチェックを有効にします。



- 3) 「取り込み設定」画面上の[OK]ボタンまたは[適用]ボタンをクリックして取り込み設定を更新します。
-

楽²ライブラリ 連携ソフトウェア
補足説明書
第1版

発行日 2010年11月
発行責任 株式会社PFU
Printed in JAPAN

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。